

## 29【P2】Ⅲ-249

一過性発現した野生型および変異型 LGP85 の細胞内分布  
○向田 真希<sup>1</sup>, 道原 明宏<sup>1</sup>, 赤崎 健司<sup>1</sup>, 辻 宏<sup>1</sup>(<sup>1</sup>福山大薬)

[目的] リソソーム膜糖蛋白質 LGP85 を Cos7 細胞に一過性発現させると巨大空胞が形成される。この空胞は初期、後期エンドソームあるいはリソソームであり、その膜には LGP85 を多く含んでいることが報告されている。しかし、どの画分に多く存在しているのか明らかになっていない。今回我々は細胞分画法により Cos7 細胞中の初期、後期エンドソーム、リソソームを分離し、一過性発現させた LGP85 の各オルガネラに対する量的関係をイムノプロット解析により調査した。また、空胞形成における LGP85 の cytoplasmic tail の関与についても検討を行った。

[方法] 後期エンドソーム・リソソームのマーカー蛋白である lamp-1 を Cos7 細胞に一過性発現させ Percoll 密度勾配遠心法により細胞分画を行った後、形質膜、リソソーム、初期・後期エンドソーム画分を活性測定並びにイムノプロット解析により明らかにした。さらに、LGP85 のリソソーム移行シグナルである Leu-Ile motif を変えた変異体あるいは wild type を用いてイムノプロット解析を行った。

[結果・考察] 一過性発現させた LGP85 の多くは、初期エンドソーム画分より幾分密度の重い初期エンドソーム様画分に分布し、後期エンドソームやリソソームにはほとんど分布していることが明らかになった。現在、cytoplasmic tail に変異を起こさせた LGP85 の細胞内分布並びに空胞形成について検討中である。